基準４　学生の受入

資料４－１－①－１

学 生 募 集 要 項

Ⅰ　アドミッションポリシー

本校の入学者に期待される人間像は，次のとおりです。
・ものづくりに関心があり，基礎学力を持った人
・自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
・文化や自然環境を大切にする人

Ⅱ　募　集　人　員

学　　科	入学定員
機械工学科	４０名
電気情報工学科	４０名
電子制御工学科	４０名
物質工学科	４０名
建築学科	４０名
計	２００名

Ⅲ　選　抜　方　法

入学者の選抜は，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の方法で実施します。
「推薦による選抜」の募集人員は，各学科とも入学定員の５０％程度とします。

Ⅳ　日　程　表

推薦による選抜	願書受付期間	平成２６年１月　６日（月）～ １月　９日（木）
	作文・面接日	平成２６年１月２１日（火）
	合格発表日時	平成２６年１月２７日（月）午前１０時
	入学確約書提出期限	平成２６年２月　３日（月）
学力検査による選抜	願書受付期間	平成２６年１月２８日（火）～ １月３１日（金）
	学力検査日	平成２６年２月１６日（日）
	合格発表日時	平成２６年３月　４日（火）午前１０時
入学手続日	第１回	平成２６年３月　７日（金）
	第２回	平成２６年３月１７日（月）

－ 1 －

（出典　平成 26 年度　学生募集要項　入学案内　準学士課程１学年）

資料４－１－①－１

Ⅰ　アドミッションポリシー

本校の入学者に期待される人間像は，次のとおりです。
①専門分野の基礎となる学力を有する人
②自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人
③文化や自然環境に対する広い視野を持ち，周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

Ⅱ　募集人員

学　　科	募集人員	編入学年
機　械　工　学　科	若干名	第４学年
電気情報工学科	若干名	
電子制御工学科	若干名	
物　質　工　学　科	若干名	
建　築　学　科	若干名	

Ⅲ　選抜方法

１．出願資格

次のいずれかを卒業した者又は平成 26 年３月卒業見込の者
（１）工業高等学校
（２）高等学校の工業に関する学科，普通科及び理数科

２．願書受付

（１）受　付　期　間　　平成 25 年７月 31 日（水）から８月５日（月）まで（土日は除く）
（郵送の場合も，８月５日（月）の午後４時までに必着）

（２）受　付　時　間　　午前９時から午後４時まで

（３）受　付　場　所　　米子工業高等専門学校学生課教務・キャリア支援係
（〒683-8502　鳥取県米子市彦名町 4448）

－１－

（出典　平成 26 年度　編入学生募集要項　入学案内　準学士課程４学年）

資料４－１－①－１

Ⅰ　アドミッションポリシー

1　基本的知識を有し，さらに高度な専門知識を学びたい人
2　主体的に物事に取り組み，解決しようとする意欲のある人
3　学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人
4　他の人と協調しながら物事に取り組める人

Ⅱ　募集人員

専　　攻	募集人員
生産システム工学専攻	１２名
物質工学専攻	４名
建築学専攻	４名

Ⅲ　選抜方法

入学者の選抜は，「推薦による選抜」，「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」により，次の日程で実施します。

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合格発表日
推薦による選抜	平成 25 年 5 月 7 日（火） ～5 月 10 日(金)	平成 25 年 5 月 18 日(土)	平成 25 年 5 月 24 日（金）
学力検査による選抜	平成 25 年 11 月 6 日(水) ～11 月 11 日(月)	平成25年11月26日(火)	平成 25 年 12 月 3 日（火）
社会人特別選抜			

- 1 -

（出典　平成 26 年度　専攻科課程学生募集要項）

資料４－１－①－２

達成目標
Achievement Objectives

本校では、学習・教育目標に基づき本科卒業時及び専攻科修了時において、学生が具体的に身に付けておきたい能力として次のような達成目標を定めています。

本科学生の達成目標

1 学び習得した知識を適切に表現し、活用することができる。

2 実験等で得られた結果について、すでに学んだ知識をもとに分析し、報告することができる。

3 関心のある分野について継続的に学習していくことができる。

4 地球や地域の環境保全を念頭に置きながら、社会生活を送ることができる。

5 日本語及び英語の資料等を読み、適切に理解することができる。

6 自らの考え等について分かりやすく関係者に説明することができる。

専攻科学生の達成目標

1 工学に関する様々な問題等を自ら発見することができる。

2 発見した問題を解析し、自ら設定した行動計画の下で解決することができる。

3 専門的な英語の文献等を読み、理解することができる。

4 自らの専門的知識・技術及び関連する分野の知識について、時代の進展に対応し、フォローアップすることができる。

5 持続可能な社会を念頭に置きながら、仕事その他の社会生活を送ることができる。

6 問題解決に向けて、チームの中で自己の意見を述べ、また他者の意見を聞きながら適切に作業を進めることができる。

7 専門分野の課題について報告書等を作成し、適切な資料を用いて関係者に分かりやすく説明することができる。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）
Admission Policy

本校では、入学者として次のような人を広く求めています。

本科

1 ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人

2 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人

3 文化や自然環境を大切にする人

編入学

1 専門分野の基礎となる学力を有する人

2 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人

3 文化や自然環境に対する広い視野を持ち、周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

専攻科

1 基本的知識を有し、さらに高度な専門的知識を学びたい人

2 主体的に物事に取り組み、解決しようとする意欲のある人

3 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人

4 他の人と協調しながら物事に取り組める人

（出典　平成 26 年度　学校要覧 P. 5）

資料４－１－①－３

7. アドミッションポリシー（入学者受入方針）

本校では，入学者として次のような人を広く求めています。

【本科】

① ものづくりに関心があり，基礎学力を持った人

② 自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人

③ 文化や自然環境を大切にする人

【編入学】

① 専門分野の基礎となる学力を有する人

② 自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人

③ 文化や自然環境に対する広い視野を持ち，周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人

【専攻科】

① 基本的知識を有し，さらに高度な専門知識を学びたい人

② 主体的に物事に取り組み，解決しようとする意欲のある人

③ 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人

④ 他の人と協調しながら物事に取り組める人

— 9 —

（出典　平成 26 年度学生便覧 P.9）

資料４－１－①－４

（出典　校外向け Web ページ 準学士課程入学案内）

資料４－１－①－５

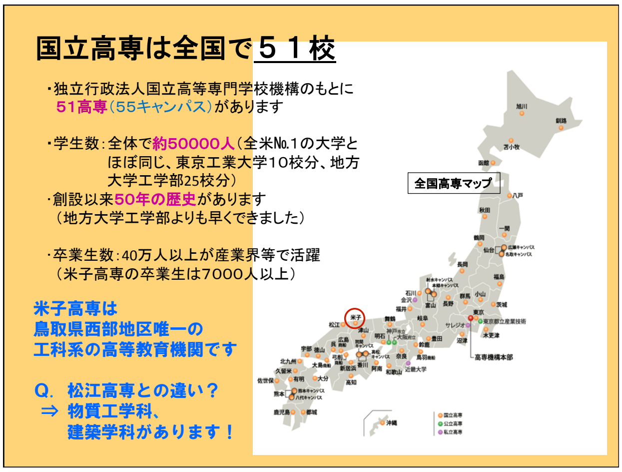
専攻科 入学案内

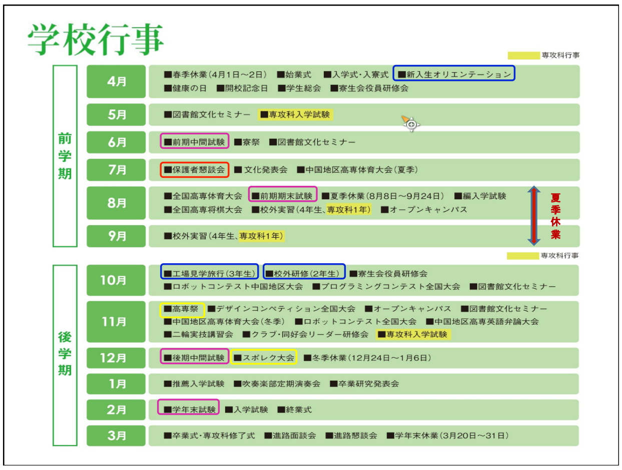
専攻科 アドミッションポリシー

A　基本的知識を有し、さらに高度な専門知識を学びたい人
B　主体的に物事に取り組み、解決しようとする人
C　学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人
D　他の人と協調しながら物事に取り組める人

（出典　校外向け Web ページ 専攻科入学案内）

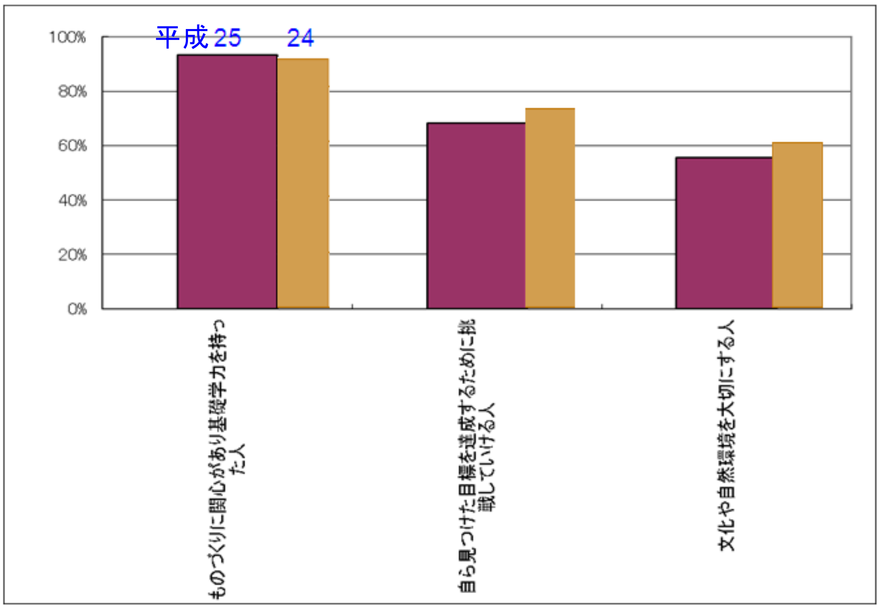
資料４－１－①－６





（出典　平成 25 年度入試説明会・中学校訪問説明資料）

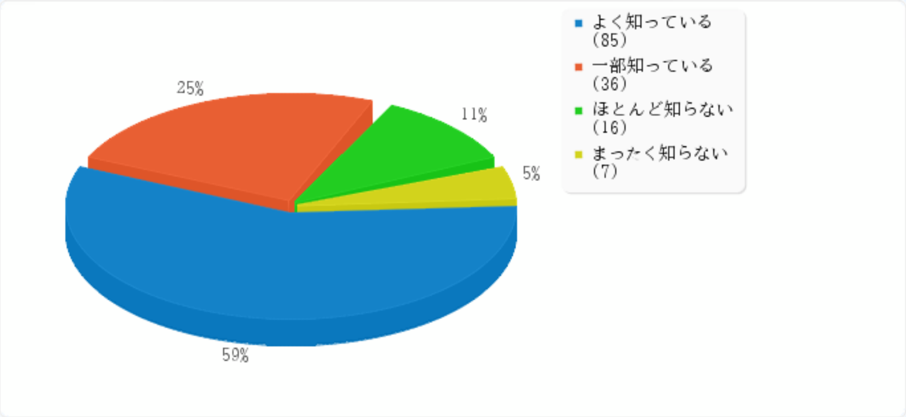
資料４－１－①－７
平成 24・25 年度入学生を対象としたアドミッション・ポリシーの認識度調査



（出典　学生課教務・キャリア支援係資料）

資料４－１－①－８

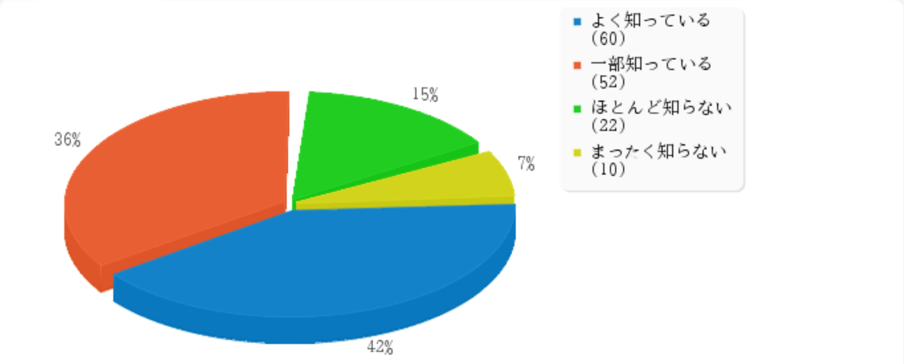
10001 フィールドの概要		
【問１７】本科1年次入学者に対するアドミッションポリシーを御存知ですか？本科1年次入学者に対するアドミッションポリシー（1）ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人（2）自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人（3）文化や自然環境を大切にする人		
回答	カウント	百分率
よく知っている (A1)	85	59.03%
一部知っている (A2)	36	25.00%
ほとんど知らない (A3)	16	11.11%
まったく知らない (A4)	7	4.86%
わからない	0	0.00%



（出典　平成 25 年度教職員アンケート結果）

資料４－１－①－９

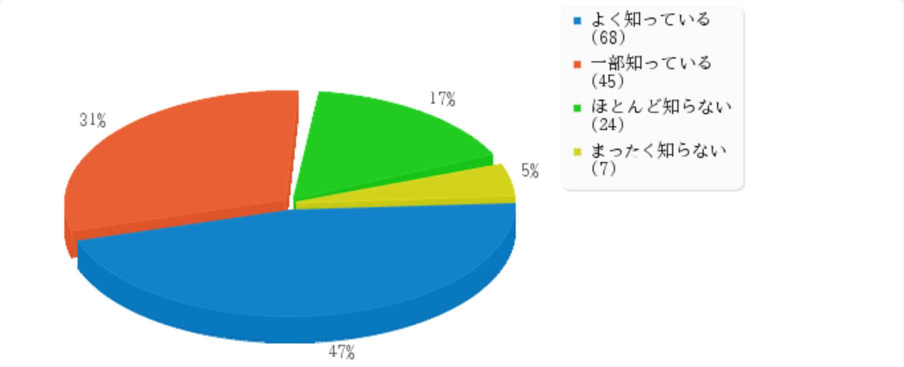
11001 フィールドの概要		
【問１８】本科4年次編入学者に対するアドミッションポリシーを御存知ですか？（1）専門分野の基礎となる学力を有する人（2）自ら創意工夫をして物事に積極的かつ継続的に取り組める人（3）文化や自然環境に対する広い視野を持ち，周囲の人と協調しつつコミュニケーションができる人		
回答	カウント	百分率
よく知っている (A1)	60	41.67%
一部知っている (A2)	52	36.11%
ほとんど知らない (A3)	22	15.28%
まったく知らない (A4)	10	6.94%
わからない	0	0.00%



（出典　平成 25 年度教職員アンケート結果）

資料４－１－①－10

12001 フィールドの概要		
【問１９】専攻科1年次入学者に対するアドミッションポリシーを御存知ですか？（1） 基本的知識を有し，さらに高度な専門知識を学びたい人（2）主体的に物事に取り組み，解決しようとする意欲のある人（3） 学んだ技術を生かして社会に貢献する意欲のある人（4） 他の人と協調しながら物事に取り組める人		
回答	カウント	百分率
よく知っている (A1)	68	47.22%
一部知っている (A2)	45	31.25%
ほとんど知らない (A3)	24	16.67%
まったく知らない (A4)	7	4.86%
わからない	0	0.00%



（出典　平成 25 年度教職員アンケート結果）

資料４－２－①－１

入試制度改定について

１．学力検査による選抜の改定点

① 従来行っていた面接検査を廃止します。

② 合否判定には、学力検査の評点のほか、調査書の９教科評定点を用います。

③ 判定に用いる９教科評定の比重は「９教科評定点の合計×６倍」とします。
（学力検査の評点 500 点満点＋（調査書の評定点 45 点満点×6 倍）＝ 770 点満点）

④ 判定に用いる９教科評定は 3 年生の評定のみを用います。

⑤ ３年生の評定期間は 1 学期から 2 学期までの総合した評定（２学期制の中学校は１２月末現在の評定）とします。

※ 推薦による選抜の方法については従来どおりです。

２．改定理由

昨年度までは、学力検査の配点を 500 点、面接検査の配点を 30 点、調査書の配点を 120 点満点とし、その合計点をもって合否判定していましたが、合計点に対する面接の配点の比率がかなり低いにもかかわらず、そのためだけに受検生は１日を費やさなければならず、負担をかけていました。また、調査書の評定点は受検生の資質と人物の総合的な評価指数として十分有効であると考えられることから面接を廃止して調査書評定の比重を高くすることにしました。

３．改定に伴う平成２５年度入試からの判定方法

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍(出身)学校長から提出された調査書を総合して判定します。

学力検査、調査書の配点は以下のとおりです。

学力検査		学習記録評定（調査書）	
理科 英語 数学 国語 社会	１００点 １００点 １００点 １００点 １００点	国語，社会，数学，理科，外国語， 音楽，美術，保健体育，技術・家庭	各科目３０点 （5 段階評定×６倍）
合計	５００点	合　計	２７０点

（出典　校外向け Web ページ 本科入学案内）

資料４－２－②－１

平成２５年度　第２回入試委員会議題

日　時　：　平成２５年５月８日（水）　１５時４５分～

場　所　：　大会議室

議　題

１．平成２６年度専攻科入学者選抜検査
（推薦による選抜）実施要項（案）について　……………………　資料１

２．平成２６年度編入学者選抜検査（案）について　……………………………　資料２

（１）平成２６年度編入学生募集要項（案）について　………………………　資料３

（２）平成２６年度編入学者選抜検査
担当者選出及び検査問題の作成手順について　………………………　資料４

３．平成２６年度以降の本科入学者選抜検査に係る提出書類の追加について
…………………………　資料５

４．平成２５年度入学生の入試成績と学力診断テスト結果について　…………　資料６

５．その他

（出典　平成 25 年 5 月 8 日　入試委員会資料）

資料４－２－②－２

平成２５年度　第７回入試委員会議題

日　時　：　平成２５年１１月１３日（水）　１５：４５ ～

場　所　：　大会議室

議　題

１．平成２６年度専攻科入学者選抜検査（学力検査による選抜・社会人特別選抜）実施要項（案）について　……………… 資料１

２．平成２６年度本科入学者選抜検査（学力検査による選抜）予備問題の作成について　……………………………… 資料２

３．平成２６年度本科入学者選抜検査（推薦による選抜）各担当者，面接の概要及び作文（デッサン）テーマの作成手順について　…………………………… 資料３

４．平成２６年度第２回オープンキャンパスの開催について　…………… 資料４

５．平成２７年度編入学者選抜検査について

６．平成２５年度入学生の成績分析　………………………………… 資料５

７．その他

（出典　平成 25 年 11 月 13 日　入試委員会資料）

資料４－２－②－３

中学校連絡専門部会の業務（案）

平成 23 年 5 月 12 日（木）

1. 中学校連絡専門部会の業務

○中学校で行われる高校説明会に参加し中学生および保護者に本校を説明。
- → 高校説明会で本校を全体会に入れていない中学校にその改善の依頼（松原、竹内）
- → 中学校から依頼があるたびに委員にメールで連絡
  （行くことが物理的に不可能でない方は必ず返信をください。その中で、回数がなるべく均等になるように行っていただく方を決めます。）

○担当地区の中学校に訪問し進路担当者に本校を説明。
- → 鳥取県、島根県東部、兵庫県北西部の中学校は原則すべて訪問
- → 校長先生も委員の一人として一地区を担当
- → 兵庫県北東部、岡山県北部、広島県北部、島根県中西部には訪問可能か手紙を出す
- → 藤井先生（岡山県北部）と加藤先生（広島県北部）は訪問 OK が出た中学校のみ訪問
- → 兵庫県北東部、島根県中西部で訪問 OK の中学校は A 科に依頼する
- → 推奨訪問期間（①中学校の夏休み期間、②第 1 回オープンキャンパス募集期間）

２．高校説明会、中学校訪問時の標準説明資料。

○中学校連絡専門部会委員専用名刺

○説明会用パワーポイントファイル　→　使いやすいようにアレンジ可

○その他
- ・ 中学校別の在校生の成績（前期中間の成績など）
- ・ 学科ごとの大学合格数（21,22 年度）
- ・ 求人の県内、県外別（22 年度）
- ・ 中国地区他高専の求人倍率
- ・ クラブの過去３年間の実績

３．出張手続き

○事前に寺脇補佐に連絡　→　ウエブでの出張手続きは寺脇さん

○可能な限り公用車を利用のこと。　→　ウエブ予約になりました

○事後、１週間以内に報告書を提出（後日、校長先生に見ていただきます。）
- → やむを得ず個人の自動車を利用して米子市内、境港市内に行った場合、
  １日当たりの交通費として 500 円が出ます。
- → 概略片道 100km 以内は交通費は出ますが日当は出ません。
- → 片道 100km 以上では交通費、日当が出ます。
- → 訪問が勤務時間外となった場合は超過勤務手当が支給される。

（出典　中学校連絡専門部会資料）

資料４－２－②－４

独立行政法人 国立高等専門学校機構
高専 国立米子工業高等専門学校
Yonago National College of Technology

検索

▸入学を希望される方　▸地域社会の方　▸企業の方　▸卒業生の方　▸同窓会　▸在学生の方

米子高専紹介コーナー

国立米子工業高等専門学校 創立50周年記念事業 50th

2012 高専制度創設５０周年

全国高等専門学校デザインコンペティション2013 米子

国立米子高専 虎の巻

RADIO CM DARAZ FM & 放送部

卒業生メッセージ

CONTENTS

- ホーム
- 学校案内
- About YNCT
- 専攻科案内とシラバス
- 学科案内とシラバス
- 入学案内
- JABEE
- キャンパスライフ
- 学生の活躍
- 各種講座案内
- 産学連携・地域サービス
- 後援会
- 同窓会
- 保護者の方へ
- 新型インフルエンザ対応
- 情報公開
- 教育・研究
- 外部評価・自己点検評価
- 本校の取組み
- 施設
- 採用情報

ホーム ＞ 新着・お知らせ情報 ＞ BSSラジオでの広報番組が最終回を迎えました！

過去ログ

BSSラジオでの広報番組が最終回を迎えました！

部署　　：総務課専門職員
公開日時：'11/09/06

米子高専では、高専の魅力をより一層広く一般に知ってもらうために、６月から８月までの２ヶ月間、ＢＳＳラジオ「おしゃべり本舗」番組内において、昨年度に引き続き米子高専紹介コーナーを週に１回、全９回に亘って放送を行いました。

昨年度行った放送をベースにしながらも、今年度は米子高専の教員以外に、学生や卒業生、保護者代表としての後援会会長や企業代表としての振興協力会会長にも出演していただき、それぞれの立場から客観的に米子高専を見た感想を語ってもらい、より深みのある内容を狙った「キミの未来を応援『米子高専は魅力がいっぱい』シーズン２」としてリニューアルを図りました。

また、ラジオ広報を続けていく中で、米子高専が行っている教育や様々な活動の中身が大変良く分かったといった感想も多々あり、本校教職員にとっても米子高専の特長を再認識することが出来、大変有意義な試みとなりました。

齊藤校長は英語科の中島教員とともに最終回へ出演し、国際的に通用するエンジニアには何が必要で、そのために米子高専では何を行っているかといった取り組みの紹介を行いました。

そして、今後被災地の復興とか日本経済の復活のために、本当に力のあるエンジニアや研究者が必要になることから、中学生たちに、単にどこの高校へ行くかでだけなく、将来何になりたいのか、あるいは日本や地域社会のためにどんな役に立ちたいのかなどを考えて学校選択をしてもらいたいと放送を締め括くりました。

米子高専では、このようなメディアを使った広報も取り入れながら、継続的な情報発信をこれからも続けていく予定です。

（出典　校外向け Web ページ）

資料４－２－②－５

放送部制作「米子高専ラジオCM」配信中

放送部が制作した米子高専の学校広報用ラジオCMの音声です。
地元コミュニティFM局DARAZ FMにて放送しています。

中３の希望編（20秒）	中学３年生の皆さんにどんな学校へ進学したいか聞いてみた…という形式のCM
クイズ20秒編（20秒）	興味のある分野を実践的に学べる学校はどこ？答えはもちろん…
クイズ120秒編（120秒）	クイズ20秒編よりもヒントがたくさん与えれる120秒編。ちゃんとオチもあります
クイズ120編改訂版（120秒）	クイズ120秒編の最後部にあったオープンキャンパスの案内などの部分を改訂
オープンキャンパス編（20秒）	第２回米子高専オープンキャンパスの日程をひたすら告知
NEW! 建築学科５回言いました編（20秒）	建築学科の魅力を建築学科の１年生がアピール

（出典　校外向け Web ページ 放送部）

資料４－２－②－６

（出典　総務課企画・社会連携係資料 リケジョのガールズ白書）

資料４－２－②－６

イベントガイド　2012

6月3日（日）

DARAZ FM「米子高専エンジン×ピープル」（79.8MHz、22：00～22：30）
番組内にてプロジェクト説明（再放送6月5日（火）19：30～20：00）

6月20日（水）

先輩女子学生による中学校講演 in 米子市日吉津村中学校組合立箕蚊屋中学校

7月1日（日）

DARAZ FM「米子高専エンジン×ピープル」（79.8MHz、22：00～22：30）
番組内にてプロジェクト説明（再放送7月3日（火）19：30～20：00）

7月11日（水）

先輩女子学生による中学校講演 in 安来市立第一中学校

8月8日（水）

鳥取短期大学にて実験イベント実施

8月10日（金）

米子高専にて学校説明会・体験イベント（『第1回オープンキャンパス』：３年生男女対象）

8月22日（水）

米子高専にて学校説明会・体験イベント（『エンジョイ科学館』：１～３年生男女対象）
PDF　お申込はこちら

9月1日（土）

『工場見学バスツアー』（大山乳業・大谷酒造：１～３年生女子優先・保護者同伴のこと）
PDF
工場見学バスツアーの受付はおかげをもちまして定員に達しましたので終了致しました。
ありがとうございました。

11月17日（土）

米子高専にて学校説明会・体験イベント・講演会（『第2回オープンキャンパス』：３年生男女対象）

11月18日（日）・12月15日

講演会『先輩と話そう♪“リケジョcafe”』
PDF

2月3日（日）

米子コンベンションセンターにて『親と子のための就職フェア』開催（中学生・高校生女子優先・保護者同伴のこと）
PDF

このHPは「独立行政法人科学技術振興機構 女子中高生の理系進路選択支援プログラム」により作成されたものです。
事業名:「そうだ、理系に行こう！理系女子(ri・girl)増加へのファイブステップ」

（出典　校外向け Web ページ 理系女子）

資料４－２－②－６

（出典　校外向け Web ページ 理系女子）

資料４－２－②－６

工場見学バスツアー スケジュール

- 9:20 米子高専集合
- 9:30 米子高専出発
- 9:50 米子駅だんだん広場着
- 10:50 大山乳業農業協同組合着
  - 見学ツアー
- 12:00 見学ツアー終了
  - 昼食タイム ＊みなとガーデンにて昼食タイム（実費）牛骨ラーメンほか
- 13:20 大谷酒造着
  - 見学ツアー
- 14:30 見学ツアー終了
- 15:30 米子駅だんだん広場着
- 15:50 米子高専着 解散
- 16:00 米子高専見学会 ＊希望者のみ
  - 質問・座談会
- 16:30 終了（予定）

工場紹介

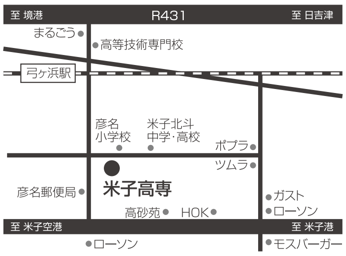
大山乳業農業協同組合

大山乳業農業協同組合は全国でもめずらしい県内のすべての酪農家で組織した酪農専門農協です。県内の酪農家からしぼられた生乳はすべてこの工場へ集められ、白バラ牛乳などを製造し、販売しています。平成16年に完成した清潔で環境にやさしい工場では、牛乳・ヨーグルトの製造ラインが見学いただけます。

大谷酒造

一貫して辛口にこだわり、厳選した米と麹とだいせんの伏流水で銘酒「鷹勇」を造り続けています。
蔵人たちが造り上げる酒は、きめ細やか爽やかで透明感のある深い味わいに仕上げています。

米子高専へのアクセス



■バス（米子駅出発）
内浜線 下葭津行 20分～25分
「河崎南」下車 徒歩10分
「中彦名」下車 徒歩8分
内浜産業道路線 高専行 15分
「高専前」下車すぐ

■電車（JR）
境線 境港行 15分
「弓ヶ浜駅」下車 徒歩20分

■タクシー
米子駅前より約15分

来客用駐車スペースがございます。お車でお越しの際はご利用下さい。

お申し込み方法

お電話か電子メール、FAX、郵送にて下記申込用紙の内容をお申し出ください。

TEL:0859-24-5007
kikaku@yonago-k.ac.jp
FAX:0859-24-5009
〒683-8502　米子市彦名町4448
国立米子工業高等専門学校 地域共同テクノセンター
（企画・社会連携係）宛

日　　付	2012年9月1日（土）
時　　間	9:30～16:30（予定）
集合場所	国立米子工業高等専門学校 または 米子駅だんだん広場前
対　　象	中学生 保護者の同伴が必要です。
定　　員	40名＊定員になり次第締め切ります。
参加費	無料（昼食は実費となります）
受付期間	2012年8月17日（金）まで

工場見学バスツアー申込用紙

乗車場所	いずれかを○で囲んでください。　米子高専　・　米子駅だんだん広場前				
生徒氏名1	ふりがな	性別	男・女	学校名	中学校（　年生）
生徒氏名2	ふりがな	性別	男・女	学校名	中学校（　年生）
保護者氏名 ※必ずご同伴ください。		緊急連絡先		-	-
		自宅電話番号		-	-
E-mail	@				
住所					

（出典　校外向け Web ページ 理系女子）

必要事項を記入の上FAXをお送りください。　国立米子工業高等専門学校　0859-24-5009

資料４－２－②－６

ＪＳＴ女子中高生の理系進路選択支援プログラム

先輩と話そう♪ “リケジョ Cafe”

理系に進んだら… 卒業後は？ 将来の仕事は？？
男性が多い理系の仕事。やっていけるかどうかなど不安があると思います。
そこで、理系の仕事に就きながら、お母さんとして、働く女性（ワーキングウーマン）としてバリバリ活躍されている方をお招きして講演会を開催します。
リアルな理系の進路を知る良い機会です。ぜひご参加ください！

2012 年 第１回 10 月 27 日(土)	2012 年 第２回 11 月 18 日(日)	2012 年 第３回 12 月 15 日(土)
講　師：田中　凡子 氏（薬剤師）	講　師：北原　遥　氏（園芸会社勤務）	講　師：土江　松美　氏（大阪市立大学 技術職員）

時　間：13：30～15：30（第１回～第３回共通）
場　所：米子工業高等専門学校　講義室３（仮）
内　容：講演会と茶話会（講演会後、講師の方を交えてお茶会を予定しています）
対　象：女子中学生、女子高校生、保護者、中学校教員、高校教員
定　員：３０人（要申し込み・先着順）参加無料
お申し込み方法：電子メールか FAX でお申し込みください。

参加者募集中【無料】

■お問い合わせ・お申し込み先
国立米子工業高等専門学校　地域共同テクノセンター（企画・社会連携係）
〒683-8502　米子市彦名町 4448　TEL:0859-24-5007
FAX:0859-24-5009　電子メール：kikaku@yonago-k.ac.jp

「理系女性による女子中高生のための講演会」参加申込用紙

希望の回に ☑ してください　□第１回　□ 第２回　□ 第３回	
住所　〒	
電話番号	連絡先メールアドレス
代表者氏名　ふりがな	保護者・教員等
参加者氏名　ふりがな	学校名・学年

代表者と参加者の住所等が違う場合は以下にご記入ください。

参加者氏名　ふりがな	学校名・学年
住所　〒	
電話番号	連絡先メールアドレス

質問したいことを教えてください

このチラシは「独立行政法人科学技術振興機構　女子中高生の理系進路選択支援プログラム」により作成されたものです
（出典　校外向け Web ページ 理系女子）

資料４－２－②－６

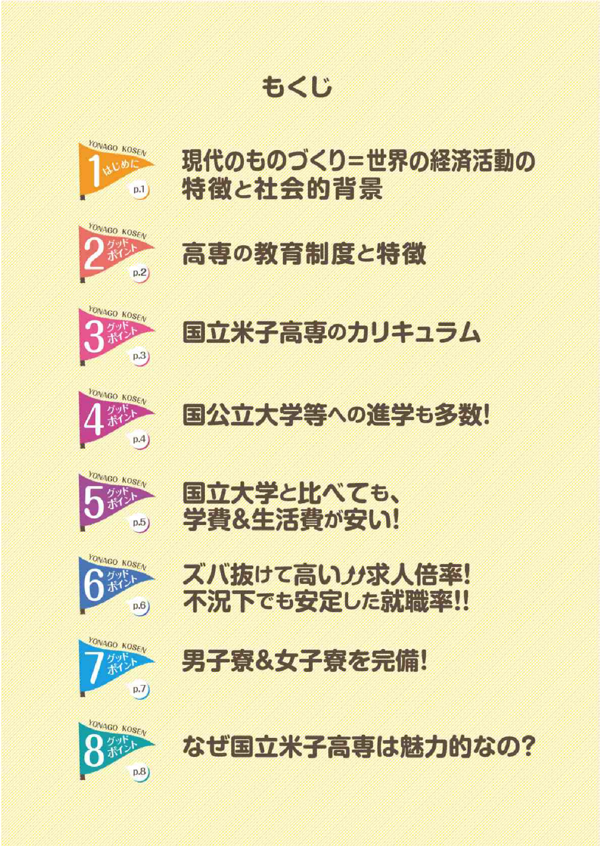
５．講座の様子

延べ受講人数	２８　名	
概要 〔第１回リケジョ Cafe〕　〈於：米子高専　10/27　２時間〉 〔第２回リケジョ Cafe〕　〈於：米子高専　11/18　２時間〉 〔第３回リケジョ Cafe〕　〈於：米子高専　12/15　２時間〉 ・理系企業で活躍する女性研究者・女性技術者等による講演会。 ・理系進学への動機、学生生活の話、研究活動、現在の仕事の紹介など		
延べ受講人数	２７３　名	
概要 〔第１回　理系女子学生による母校訪問　於：箕蚊屋中学校〕　〈6/20　１時間〉 〔第２回　理系女子学生による母校訪問　於：安来第一中学校〕〈7/11　１時間〉 〔第３回　理系女子学生による母校訪問　於：福米中学校〕　〈9/11　１時間〉 〔第４回　理系女子学生による母校訪問　於：東山中学校〕　〈9/13　１時間〉 〔第５回　理系女子学生による母校訪問　於：弓ヶ浜中学校〕　〈9/18　１時間〉 〔第６回　理系女子学生による母校訪問　於：日南中学校〕　〈9/20　１時間〉 〔第７回　理系女子学生による母校訪問　於：法勝寺中学校〕　〈9/24　１時間〉 ・理系を選択した理由、現在の勉強内容、学校生活、将来の夢など		
延べ受講人数	３２　名	
概要 〔座談会：理系の道を考えるあなたに必要な３つのチカラ〕　〈於：米子高専　11/17　１時間〉 ・理系を選択した理由、現在の勉強内容、学校生活、将来の夢など		
延べ受講人数	１２　名	全体３８名
概要 〔地元企業見学会〕　〈於：大山乳業農業協同組合・大谷酒造　9/1　6時間〉 ・「親子でめぐる工場見学バスツアー」として理系の企業でイキイキと働く女性技術者の様子をプレゼンテーション形式で説明を受けたり実際に話をすることで、理系を身近に感じることができ、将来の自分を描くきっかけになった。また、親子参加を義務付けることで、保護者の理系女性に対する理解が深まった。		
延べ受講人数	４　名	
概要 〔勉学支援〕　〈於：米子高専　11/17　2時間〉 ・中学生の理系科目（数学、理科など）に対する学習の悩み相談を実施した		
延べ受講人数	４　名	
概要 〔実験イベント〕〈於：鳥取短期大学　8/8　4時間〉 ・「エンジョイ科学講座 in とりたん」として実験体験型イベントを実施した		
延べ受講人数	８９　名	
概要 〔実験イベント〕〈於：鳥取短期大学　8/18　4時間〉 ・「オープンキャンパス併設科学講座」として実験体験型イベントを実施した		
延べ受講人数	１５　名	全体７５名
概要 〔実験イベント〕〈於：米子高専　8/22　4時間〉 ・「エンジョイ科学館」として中学生向けに実験体験型イベントを実施した		
延べ受講人数	５　名	全体１１名
概要 〔企業説明会〕　〈於：米子コンベンションセンター　2/3　2時間〉 ・「未来のジブンを探そう！親と子のための就活フェア」として企業が100社以上集まる合同企業説明会の会場を見学するとともに、先輩理系女性の話を聞いたり、座談会形式で質問や雑談コーナーを設ける等して、具体的に自分の将来を考える機会となった。また、親子参加を義務付けることで、保護者の理系女性に対する理解がさらに深まった。		

※欄が足りない場合は、文字のフォントを下げる、セルを広げる等して記載してください。
※概要には記入例のように、実施日、実施日数、実施時間数に関する情報を記載してください。

（出典　理系女子業務実績報告書）

資料４－２－②－７



（出典　校外向け Web ページ　米子高専虎の巻）

資料４－２－②－８

入学志願者数及び入学者数

		機械 工学科	電気情報 工学科	電子制御 工学科	物質 工学科	建築学科	計
２６年度	志願者	68 (0)	90 (5)	73 (12)	107 (45)	82 (34)	420 (96)
	入学者	45 (1)	40 (0)	40 (5)	41 (19)	41 (20)	207 (45)
	倍率	1.70	2.25	1.83	2.68	2.05	2.10
２５年度	志願者	73 (2)	118 (18)	85 (9)	104 (49)	78 (30)	458 (108)
	入学者	42 (2)	40 (10)	41 (4)	40 (25)	42 (20)	205 (61)
	倍率	1.83	2.95	2.13	2.60	1.95	2.29
２４年度	志願者	75 (3)	109 (10)	98 (9)	90 (39)	69 (36)	441 (97)
	入学者	44 (3)	44 (5)	40 (2)	40 (17)	40 (20)	208 (47)
	倍率	1.88	2.73	2.45	2.25	1.73	2.21
２３年度	志願者	77 (2)	93 (12)	99 (12)	104 (43)	77 (30)	450 (99)
	入学者	41 (0)	40 (7)	40 (3)	41 (20)	41 (19)	203 (49)
	倍率	1.93	2.33	2.48	2.60	1.93	2.25
２２年度	志願者	74 (2)	98 (5)	126 (19)	132 (57)	68 (29)	498 (112)
	入学者	42 (1)	42 (4)	41 (8)	41 (23)	40 (20)	206 (56)
	倍率	1.85	2.45	3.15	3.30	1.70	2.49
２１年度	志願者	63 (0)	56 (4)	103 (13)	104 (40)	57 (26)	383 (83)
	入学者	42 (0)	43 (4)	41 (6)	41 (16)	38 (16)	205 (42)
	倍率	1.58	1.40	2.58	2.60	1.43	1.92
２０年度	志願者	92 (4)	83 (5)	78 (1)	128 (45)	106 (35)	487 (90)
	入学者	40 (3)	43 (3)	42 (0)	41 (18)	44 (19)	210 (43)
	倍率	2.30	2.08	1.95	3.20	2.65	2.44

※（　）は女子内数

（出典　校外向け Web ページ　入学案内資料）

資料４－２－②－９

	鳥取県の中学校卒業者数	米子高専の入学者数			全高専の女子学生の割合
		男子	女子	女子の割合	
平成20年度	6096	167	43	20.5%	15.6%
平成21年度	5902	163	42	20.5%	15.7%
平成22年度	6083	150	56	27.2%	15.7%
平成23年度	5568	154	49	24.1%	15.9%
平成24年度	5677	161	47	22.6%	16.2%
平成25年度	5467	144	61	29.8%	17.6%
平成26年度	5482	162	45	21.7%	

（出典　学生課教務・キャリア支援係資料）

資料４－２－②－10

学科長会議
２５.４.１７ 資 料 6

「広報室」提出資料

2013/4/17 広報室長

Ⅰ 設置目的
①広報の充実、②情報の一元化、③広報業務の効率化

Ⅱ 所掌業務
１．学校全体の広報活動
１）入試広報、テクノセンター広報、図書館広報、総務広報、学生広報、寮広報、各学科・科・専攻科広報など
※従来通り各部署で実施し、必要に応じて広報室が連絡・調整等に当たる。
２）『彦名通信』編集・発行、ホームページの管理・運営・充実、「米子高専知的セミナー」（県民チャンネル）の実施
※主に『彦名通信』の編集に従事する「広報連絡委員」を各学科・科から選出（依頼）。『彦名通信』の編集の他に各学科・科等との連絡・調整役を務める。
＊『彦名通信』については、その発行目的などを再検討する（特集記事の掲載など内容・配布先の検討）。
※平成 25 年度は、『彦名通信』の編集を中心とした「広報連絡委員」の会議と、各学科・科等で各部署の HP を担当している教員及び広報室による HP の検討（管理・運営システム、トップページの改修、コンテンツの拡充など）の会議を持ち、平成 26 年度に両者の統合&HP の充実を目指す。
＊「知的セミナー」については、広報室長名で依頼し、インセンティブの付与を検討する。
３）新規の広報案件に対する調整・企画、及び各部署との連携・協力・実施

２．個人情報の管理（許諾）
３．中海テレビセンタービル（３６万円／年）による広報活動

Ⅲ 運営方針（案）
●各部署が連携し効果的・効率的な広報活動を展開するための連絡・調整機能を発揮する。
＊各部署における広報活動状況（平成 24 年度までの実績）の集約・整理をし、現状把握と課題抽出を行う。
＊各部署の担当広報業務の精査を行い、広報活動の割り振り等のガイドラインとする。
＊各部署からの広報情報の一元化システムの構築を検討する。
＊各部署で発行されている広報誌等を収集・活用するための「広報室」の設置を検討する。
●「広報戦略」（仮称）を策定・整備し、広報施策の企画・立案・調査等を行う。

（出典 平成 25 年 4 月 17 日 学科長会議資料）

21

資料４－２－②－10

Ⅳ　広報戦略（案）

１）高等教育機関としてのアピール

　＊高専間連携などによる取り組みの推進

２）ステークホルダー（利害関係者）に対する的確な情報発信

　（目的・目標の明確化、ニーズ把握）

　・小学生以下

　・中学生

　・中学生保護者

　・中学校教員

　・女子学生

　・在学生

　・保護者（後援会）

　・卒業生（同窓会）

　・教職員

　・文科省・高専機構

　・大学・他高専

　・企業

　・自治体

　・地域社会

　・海外　等

３）HPの拡充（紙媒体やオープンキャンパスなどとの情報の連続性の実現）

４）クオリティーとスピードの担保（アウトソーシングも）

５）外部メディアの活用

（出典　平成25年4月17日　学科長会議資料）

22

資料４－２－②－11

	専攻科入学者数	本校準学士課程からの進学者数	学位取得率
H22年度	33	32	100%
H23年度	25	25	100%
H24年度	27	27	100%
H25年度	26	26	100%
H26年度	21	21	

（出典　専攻科資料）

資料４－３－①－１

入学者の状況（本科）

		機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	物質工学科	建築学科	計
H22	入学定員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	74	98	126	132	68	498
	受検者数	72	98	125	130	67	492
	合格者数	64	53	72	86	68	343
	入学者数	42	42	41	41	40	206
H23	入学定員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	77	93	99	104	77	450
	受検者数	76	92	96	99	77	440
	合格者数	53	63	75	76	63	330
	入学者数	41	40	40	41	41	203
H24	入学定員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	75	109	98	90	69	441
	受検者数	73	108	98	87	69	435
	合格者数	56	68	66	75	58	323
	入学者数	44	44	40	40	40	208
H25	入学定員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	73	118	85	104	78	458
	受検者数	71	117	84	103	78	453
	合格者数	57	74	73	83	55	342
	入学者数	42	40	41	40	42	205
H26	入学定員	40	40	40	40	40	200
	志願者数	68	90	73	107	82	420
	受検者数	68	90	73	107	82	420
	合格者数	60	60	73	97	52	342
	入学者数	45	40	40	41	41	207

（出典　学生課教務・キャリア支援係資料）

課程	学科・専攻名	項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	入学定員に対する各平均比率
準学士	機械工学科	入学者数	42	41	44	42	45	1.06
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.05	1.02	1.1	1.05	1.12	
	電気情報工学科	入学者数	42	40	44	40	40	1.03
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.05	1.00	1.10	1.00	1.00	
	電子制御工学科	入学者数	41	40	40	41	40	1.00
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.02	1.00	1.00	1.02	1.00	
	物質工学科	入学者数	41	41	40	40	41	1.01
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.02	1.02	1.00	1.00	1.02	
	建築学科	入学者数	40	41	40	42	41	1.01
		入学定員	40	40	40	40	40	
		入学定員充足率	1.00	1.02	1.00	1.05	1.02	

（出典　現況表）

資料４－３－①－２

入学者の状況（専攻科）

		生産システム専攻	物質工学専攻	建築学専攻	計
H22	入学定員	12	4	4	20
	志願者数	22	7	11	40
	受検者数	22	7	11	40
	合格者数	19	6	9	34
	入学者数	19	6	8	33
H23	入学定員	12	4	4	20
	志願者数	20	6	12	38
	受検者数	19	6	11	36
	合格者数	16	4	7	27
	入学者数	16	4	5	25
H24	入学定員	12	4	4	20
	志願者数	24	4	14	42
	受検者数	21	4	13	38
	合格者数	18	4	7	29
	入学者数	18	4	5	27
H25	入学定員	12	4	4	20
	志願者数	16	5	7	28
	受検者数	16	5	7	28
	合格者数	14	5	7	26
	入学者数	14	5	7	26
H26	入学定員	12	4	4	20
	志願者数	14	4	7	25
	受検者数	14	4	7	25
	合格者数	12	4	7	23
	入学者数	12	3	6	21

（出典　専攻科資料）

課程	学科・専攻名	項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	入学定員に対する各平均比率
専攻科	生産システム工学専攻	入学者数	19	16	18	14	12	1.31
		入学定員	12	12	12	12	12	
		入学定員充足率	1.58	1.33	1.50	1.16	1.00	
	物質工学専攻	入学者数	6	4	4	5	3	1.10
		入学定員	4	4	4	4	4	
		入学定員充足率	1.50	1.00	1.00	1.25	0.75	
	建築学専攻	入学者数	8	5	5	7	6	1.55
		入学定員	4	4	4	4	4	
		入学定員充足率	2.00	1.25	1.25	1.75	1.50	
		入学者数						
		入学定員						
		入学定員充足率						

（出典　現況表）

資料４－３－①－３

特別研究指導教員･配属学生数一覧

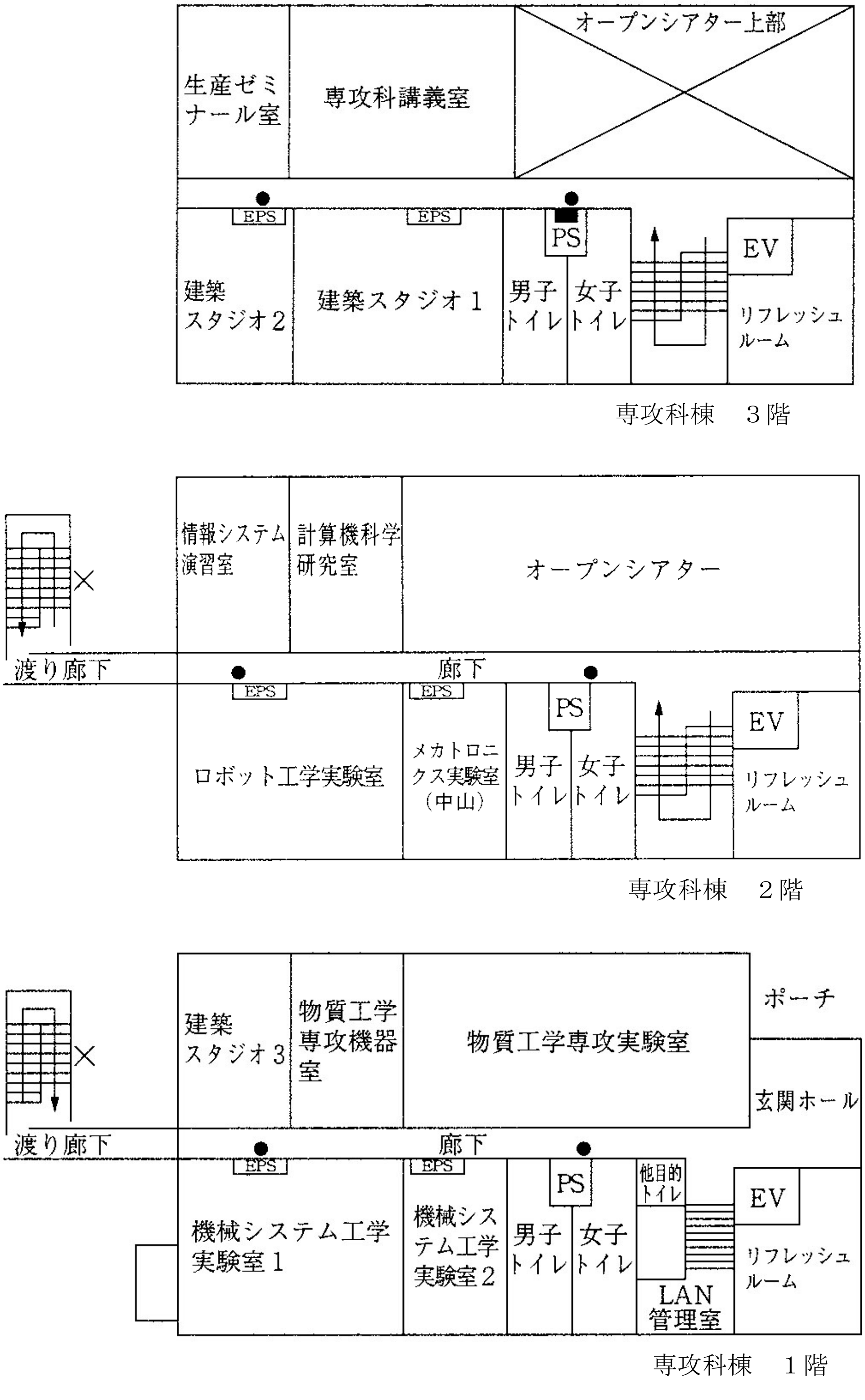
生産システム工学専攻	H23		H24		H25	
	S1	S2	S1	S2	S1	S2
大塚　茂	1	1	1	1		1
河添　久美			1			1
松本　至	2	1	1	2	1	1
森田　慎一	2	2		2	1	
山口　顕司		1	1		1	1
権田　岳		1	1		1	1
早水　庸隆	1	1	2	1	1	2
矢壁　正樹	1	1	1	1	1	1
大塚　宏一	1	1	1	1		1
原　圭介			1			1
新田　陽一			1			1
松原　孝史						
松本　正己						
宮田　仁志	1	2	1	1	3	1
浅倉　邦彦		1				
権田　英功	1	1		1		
田中　博美	1		1	1	1	1
奥雲　正樹	1	1		1		
松岡　祐介	1			1	1	
河野　清尊	1	3	2	1	2	2
能登路　淳			1			1
山本　英樹						
中山　繁生	1	1		1	1	
井上　学			1			1

物質工学専攻	H23		H24		H25	
	S1	S2	S1	S2	S1	S2
青木　薫	1		1	1		1
小田　耕平		1	1	1		1
竹中　敦司	1			1		
藤井　雄三					1	
粳間　由幸		2			3	
小川　和郎			1		1	1
田中　晋	1	1		1		
谷藤　尚貴		2	1			1
田原　麻里	1			1		
伊達　勇介						
藤井　貴敏						
村田和加恵						

建築学専攻	H23		H24		H25	
	S1	S2	S1	S2	S1	S2
稲田　祐二		1			1	
熊谷　昌彦	1	3	1	1	1	1
玉井　孝幸	1		2	1		2
山田　祐司						
高増　佳子	1			1	1	
細田　智久	1	3	1	1	2	1
前原　勝樹			1		2	1
小椋　弘佳						
金澤　雄記						
北農　幸生						

（出典　専攻科資料）

資料４－３－①－４ 専攻科設備



（出典 平成 26 年度学生便覧 P. 134-138）

資料４－３－①－５　専攻科設備

３階　専攻科講義室+生産ゼミナール室　43 席以上

リフレッシュルーム
専攻科棟各階に配置されている

２階　オープンシアター　80 席

３階　建築スタジオ１
建築学専攻の学生に対し、１人１台のテーブルを確保している

（出典　専攻科資料）

資料４－３－①－６

平成26年度・専攻科　時間割（前期）

平成26年4月14日

月曜日

学年	専攻	1	2	3	4	5	6	7	8
1年生	生産システム工学専攻	情報技術特論 松本正 シアター、メディア2		固体物性論 角田 シアター		応用電磁工学 松原 シアター		特別研究Ⅰ	
1年生	物質工学専攻			基礎材料科学 田中晋 ゼミ2		特別研究Ⅰ			
1年生	建築学専攻			特別研究Ⅰ		建築構造材料実験 稲田、玉井 建築構造材料実験室 建築スタジオ3			特別研究Ⅰ
2年生	生産システム工学専攻	知的制御システム 宮田 専攻科講義室		特別研究		創造実験 大塚宏，宮田，河野，青木 創造実験室			
2年生	物質工学専攻	特別研究							
2年生	建築学専攻	特別研究		地域施設計画 細田 建築スタジオ3		構造制御論 北農 建築スタジオ3			

火曜日

学年	専攻	1	2	3	4	5	6	7	8
1年生	生産システム工学専攻	日本語表現法 松崎 シアター		健康科学特論 南，大野 シアター、体育館ほか		品質管理工学 松本至 インターネットルーム			
1年生	物質工学専攻					特別研究Ⅰ			
1年生	建築学専攻					建築構造材料実験 稲田、玉井 建築構造材料実験室 建築スタジオ3			専攻英語講読 細田 建築スタジオ3
2年生	生産システム工学専攻	材料強度・材料組織学 原 専攻科講義室		特別研究					
2年生	物質工学専攻	生物機能材料 粳間 ゼミ2		特別研究					
2年生	建築学専攻	特別研究							

水曜日

学年	専攻	1	2	3	4	5	6	7	8
1年生	生産システム工学専攻	応用計測工学 能登路 シアター		流体力学特論 早水 専攻科講義室		特別研究Ⅰ		専攻英語講読 各研究室	
1年生	物質工学専攻			高分子合成化学 小川 ゼミ2		専攻英語講読 各研究室			
1年生	建築学専攻			防災計画論 熊谷 建築スタジオ3		地域居住空間計画 金澤 建築スタジオ3		特別研究Ⅰ	
2年生	生産システム工学専攻	特別研究				創造実験 大塚宏，宮田，河野，青木 創造実験室			
2年生	物質工学専攻	特別研究							
2年生	建築学専攻	特別研究							

木曜日

学年	専攻	1	2	3	4	5	6	7	8
1年生	生産システム工学専攻	生産システム工学特別実験 矢壁，新田 權田英，角田，河野 各研究室 各実験室				システム制御特論 松本至 専攻科講義室		回路網理論 浅倉 専攻科講義室	
1年生	物質工学専攻					物質工学特別実験 小田、竹中、藤井雄 各研究室 各実験室			
1年生	建築学専攻	建築・都市環境論 前原 建築スタジオ3		特別研究Ⅰ		建築設計製図 高増 建築スタジオ3			
2年生	生産システム工学専攻	特別研究		トライボロジー・軸受特論 大塚茂、大塚宏 専攻科講義室		特別研究			
2年生	物質工学専攻	特別研究		タンパク質工学 村田 選択1					
2年生	建築学専攻	建築構造設計演習 稲田 稲田研		建築生産特論 玉井 建築スタジオ3		特別研究			

金曜日

学年	専攻	1	2	3	4	5	6	7	8
1年生	生産システム工学専攻	応用数学特論 大庭 シアター		上級英語演習 中島 シアター		特別研究Ⅰ			
1年生	物質工学専攻					特別研究Ⅰ			
1年生	建築学専攻					建築設計製図 高増 建築スタジオ3			
2年生	生産システム工学専攻	計算機システム工学 香川 専攻科講義室		ロボット工学 中山 専攻科講義室		特別研究			
2年生	物質工学専攻	環境分析化学 伊達 ゼミ2		特別研究					
2年生	建築学専攻	建築構造設計演習 稲田 稲田研		特別研究					

1年生（全専攻）：※知的財産権特論 大塚茂、田辺 シアター、メディア2

※「知的財産権特論」は集中講義（「原則として補講期間中に実施」）

95分授業	1-2時限	3-4時限	昼休憩	5-6時限	7-8時限
	8:45～10:20	10:30～12:05	12:05～12:50	12:50～14:25	14:35～16:10

（出典　専攻科資料）

資料４－３－①－６

平成26年度・専攻科 時間割(後期)

平成26年4月8日

学年	専攻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1年生	生産システム工学専攻	1-2: 現代物理 川邉 シアター（3専攻共通） 3-4: コミュニケーション特論 酒井 シアター（3専攻共通） 5: 専攻英語講読 各研究室 7-8: ソフトコンピューティング 権田英 シアター	1-2: 一般工業力学 権田岳 シアター（3専攻共通） 3-4: 上級英語演習 中島 シアター（3専攻共通） 5-6: 材料デザイン工学 小田 シアター（3専攻共通） 7-8: 応用ソフトウェア開発／熱・物質移動論 松本正／森田慎 情報システム演習室／専攻科講義室	1-2: 生産・精密加工学 山口 専攻科講義室 3-4: 特別研究Ⅰ 5-6: ディジタル信号処理／弾塑性力学 河野/矢壁, 権田岳 シアター／専攻科講義室 7-8: 人文社会特論 山藤、布施、加藤 シアター（3専攻共通）	1-3: 生産システム工学特別実験 角田、松原、山口、森田慎 各研究室 各実験室 5-6: 社会技術論 矢壁、松本正、能登路、藤井雄、玉井 シアター（3専攻共通）	1-2: 特別研究Ⅰ 3-4: アナログ電子回路 松岡 専攻科講義室 5-6: 通信ネットワーク特論 徳光 専攻科講義室 7-8: 特別研究Ⅰ
1年生	物質工学専攻	1-2: 現代物理（共通） 3-4: コミュニケーション特論（共通） 5-6: 特別研究Ⅰ	1-6: （共通） 7-8: 無機工業化学 竹中 ゼミ2	1-2: 特別研究Ⅰ 3-4: 特別研究Ⅰ 5-6: バイオテクノロジー 田原 ゼミ2 7-8: 人文社会特論（共通）	1: 専攻英語講読 各研究室 5-6: 社会技術論（共通）	1-3: 物質工学特別実験 小川、伊達、藤井雄 各研究室 各実験室
1年生	建築学専攻	1-2: 現代物理（共通） 3-4: コミュニケーション特論（共通） 5-7: 創造設計実習 熊谷、細田 建築スタジオ3 8: 特別研究Ⅰ	1-6: （共通） 7-8: 材料学特論 玉井 建築スタジオ3	1-2: 特別研究Ⅰ 3-4: 情報デザイン論 西川 建築スタジオ3 5-6: 構造解析学特論 北農 建築スタジオ3 7-8: 人文社会特論（共通）	1-3: 創造設計実習 熊谷、細田 建築スタジオ3 5-6: 社会技術論（共通） 7-8: 特別研究Ⅰ	1-2: 保存再生論 金澤 建築スタジオ3 3-4: 耐震構造論 稲田 稲田研 5: 特別研究Ⅰ 6: 専攻英語講読 稲田 建築スタジオ3
2年生	生産システム工学専攻	1-2: 音響振動工学 新田 専攻科講義室 3-6: 特別研究	1-2: 量子電子工学 浅倉 専攻科講義室 3-6: 特別研究	1-2: 特別研究 3-4: 技術表現技法	1-4: 特別研究	1-4: 特別研究
2年生	物質工学専攻	1-4: 特別研究	1-2: 機能性材料 谷藤 ゼミ2 3-6: 特別研究	1-2: セラミックス 青木 ゼミ2 3-6: 特別研究	1-2: 材料化学 小田 ゼミ2 3-6: 特別研究	1-2: 特別研究 3-4: 技術表現技法
2年生	建築学専攻	1-4: 特別研究 5-8: 特別研究	1-3: 建築・地域計画実習 熊谷、細田 建築スタジオ3 5-6: 特別研究	1-4: 特別研究	1-4: 特別研究 5-6: 技術表現技法 7-8: 企画デザイン論 金澤 建築スタジオ3	1-3: 建築・地域計画実習 熊谷、細田 建築スタジオ3

＊知的財産権特論 田辺、大塚茂 シアター、メディア2

＊「知的財産権特論」は集中講義（「原則として補講期間中に実施」）

95分授業	1-2時限	3-4時限	昼休憩	5-6時限	7-8時限
	8:45～10:20	10:30～12:05	12:05～12:50	12:50～14:25	14:35～16:10

（出典　専攻科資料）

資料４－３－①－７

米子高専専攻科とは

担当：専攻科長
期日：2014. 1. 30
場所：合同講義室

工学系高等教育の現状

工学系国立大学の大学院進学率はどれぐらいだと思いますか？

５０～６０％といわれています．
東大・東工大・京大といった有名大学では８０％以上です

専門知識の高度化・複合化に伴って工学系大学では
大学学部4年＋大学院2年で専門教育を行うという考え方が定着してきました

企業側も大学院で深く学び，研究・開発能力の基礎を身に付けた学生を開発技術者の主力として採用するという方針を持っています

2

高等専門学校のメリット

今年３月卒業予定者の就職内定率を知っていますか？

10月1日現在の厚生労働省による調査結果

国公立大学理系　68.0%　(昨年 67.0%)

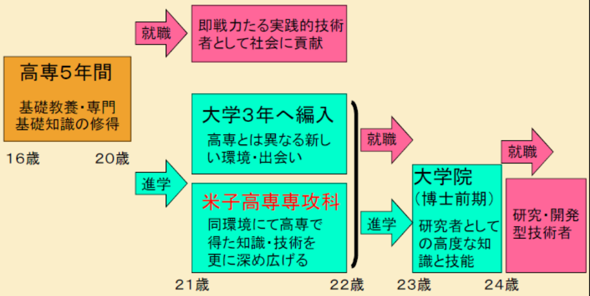
「理系」にはエ学系だけでなく，農学・理学なども含まれます

高等専門学校　95.7%　(昨年 96.2%)

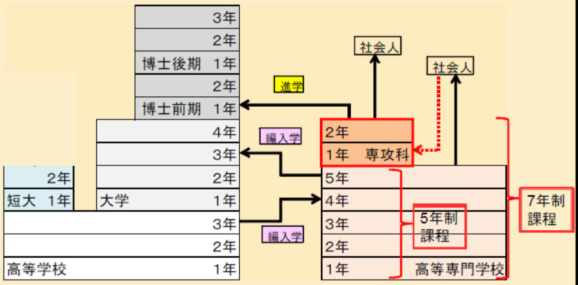
基礎知識と実践力を身に付け，２０歳で社会に出る高専卒業者は企業から高く評価されています

3

いまここで自分の人生設計をどう考えるか？（キャリア設計図を作ってみる）



専攻科の位置付け



5

本校の専攻科課程（定員数）

（本科課程）		（専攻科課程定員）
機械工学科	４０名	生産システム工学専攻　１２名
電気情報工学科	４０名	
電子制御工学科	４０名	
物質工学科	４０名	物質工学専攻　４名
建築学科	４０名	建築学専攻　４名

6

（出典　専攻科第３学年 LHR 説明資料）

資料４－３－①－８

教員会議 26. 2. 5 資 料 6

平成２５年度進路懇談会（全体会議）

１　日　時　平成２６年　３月１５日（土）
　　　　　　　午前の部　　　９時００分から
　　　　　　　午後の部　　１３時００分から

２　場　所　合同講義室

３　出席者　（学校側）校長
　　　　　　　　　　　専攻科長
　　　　　　　　　　　各学科進路担当教員（平成２６年度５年担任）
　　　　　　　　　　　キャリア支援室長

４　進　行　（学生課長）
（１）開会の辞
（２）校長挨拶（３分）
（３）教員の紹介（２分）
（４）学年主任説明（１０分）
（５）専攻科長説明（７分）
（６）閉会の辞

日程

月日	時　刻	事　項	大学面談会	備　考
3月15日	9:00 ～ 9:30	全体会議（合同講義室）		
	9:40 ～ 12:30	担任・学生・保護者の３者進路懇談	大学面談会（選択教室３，講義室 1）	合同講義室を学生・保護者の控え室に使用
	13:00 ～ 13:30	全体会議（合同講義室）		
	13:40 ～ 17:00	担任・学生・保護者の３者進路懇談	大学面談会（選択教室３，講義室 1）	合同講義室を学生・保護者の控え室に使用

＊大学面談会の会場は、参加大学数により変動あり

（出典　平成 26 年 2 月 5 日　教員会議資料）

8

資料４－３－①－９

ＪＡＢＥＥ（日本技術者教育認定制度）

Japan Accreditation Board for Engineering Education

に関する説明会

JABEEホームページ　http://www.jabee.org/

米子高専JABEEホームページ
http://www.yonago-k.ac.jp/jabee/

JABEE委員会
2013/04/25

日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　1

ＪＡＢＥＥによる教育プログラムの認定

教育機関で実施されている教育内容を客観的に審査して認定を行う

４年制大学（高専・短大の専攻科含む）の教育が対象

国際的視野における技術者教育の品質保証

日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　2

ＪＡＢＥＥに認定されることの意義

☆ＪＡＢＥＥ認定教育プログラム修了者（学生の皆さん）

◎修了者の能力・教育水準に対する社会的認知

十分な技術者教育を受けた人材であることの客観的証明

◎技術士１次試験（合格率60%程度）の免除

技術者資格としての地位向上が図られている「技術士」への近道

◎国際的なレベルでの評価

ＪＡＢＥＥは、ワシントン・アコード（技術者教育水準に関する国際的な取り決め）に加盟　→日本国外でも通用する資格となる

☆認定教育機関（米子高専）

◎十分な技術者教育を実施しているという客観的保証

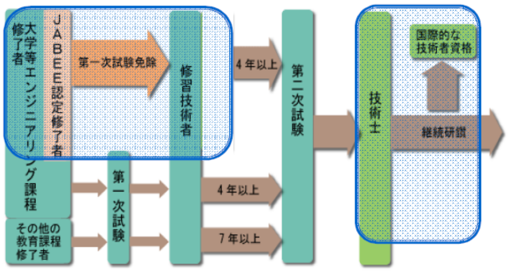
教育内容が水準を満足していることを対外的に示す証拠となる

◎第三者機関による外部評価を受けることで継続的改善機能

日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　3

ＪＡＢＥＥ認定教育プログラム修了者

☆技術士１次試験（合格率60%程度）免除　☆国際的なレベルでの評価



参考資料：社団法人　日本技術士会「技術士試験　受験のすすめ」平成18年2月

日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　4

技術士とは？プログラム修了者とは？

	技術士
英名	Professional Engineer, Consulting Engineer
実施国	日本
資格種類	国家資格
分野	科学技術分野全般
試験形式	筆記、口答
認定団体	文部科学省
認定開始年月日	1958年(昭和33年)7月6日
等級・称号	技術士
根拠法令	技術士法
公式サイト	http://www.engineer.or.jp/

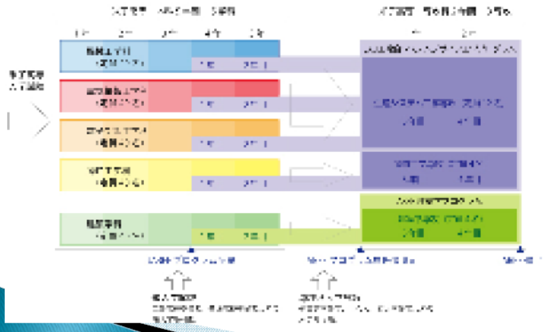
◎JABEEプログラム認定後

専攻科修了
＋
「学士」取得
＝
JABEE認定修了
技術士１次試験
免除

日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　5

複合システムデザイン工学プログラム

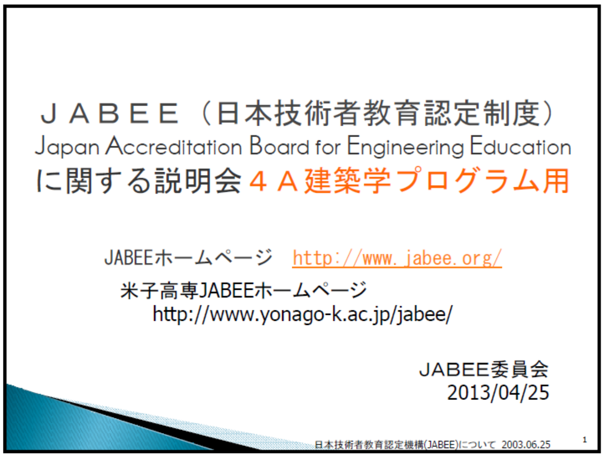
工学（融合複合・新領域）関連分野

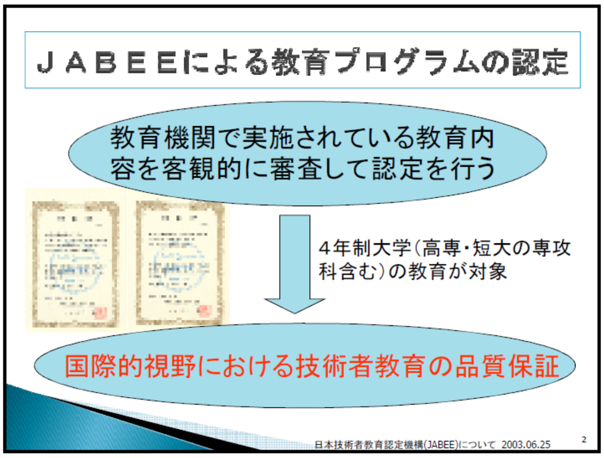


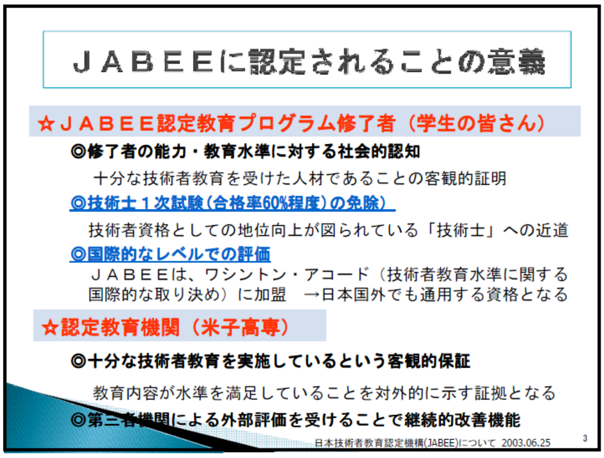
日本技術者教育認定機構(JABEE)について 2003.06.25　6

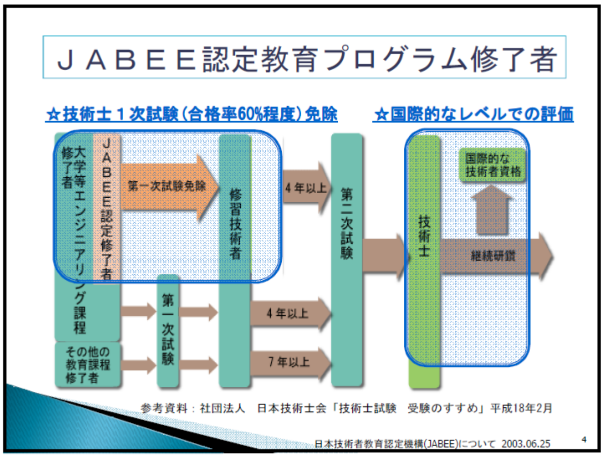
（出典　企画部 JABEE 説明会資料）

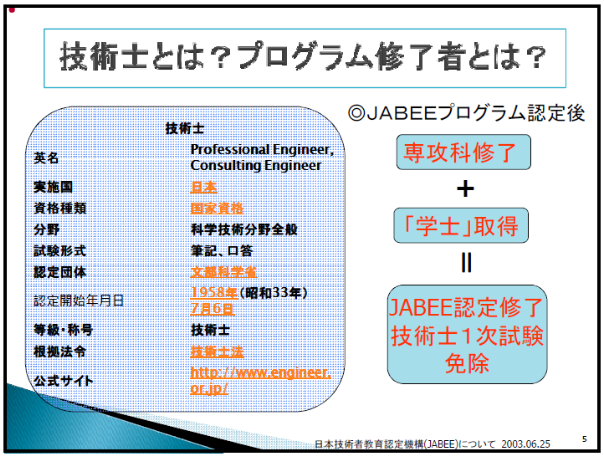
資料４－３－①－９

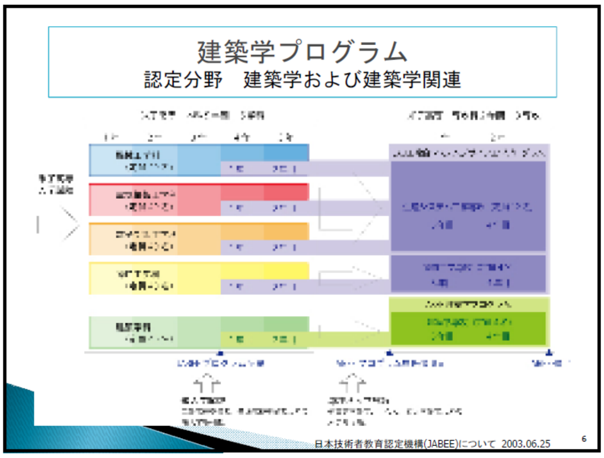












（出典　企画部 JABEE 説明会資料）